

つながり

令和4年度高島学園小中一貫教育だより 2022.10.6.(木)
高島小学校 36-1106・高島中学校 36-0079 地域学校協働本部 36-8018



空高く青空が広がり、虫の声とともに秋の訪れを感じられるようになりました。高島学園では、多くの学校行事が行われ、小中一貫の学園ならではの学習活動や交流が行われています。

この瞬間が 輝かしい記憶に…



9月16日に、高島中学校体育館で「輝憶(きおく)」というスローガンをもとに、文化祭が行われました。生徒会本部によるオープニング・エンディングセレモニーでは、全校生徒一人ひとりにとって、自分や仲間が輝ける最高の瞬間になるように、という願いが伝わってきました。2年ぶりの合唱コンクールでは、クラスのみならず担任の先生が心を一つにして、美しいハーモニーを体育館に響かせました。そして、モザイクアートの制作、各学年からの劇やダンス・動画・楽器演奏に、6組もの有志グループによるパフォーマンス。どれも、迫力満点の発表で、夏休みから準備や練習を重ねてきたことがうかがえるものばかりでした。

また6年生の児童が、9年生の有志発表と劇を鑑賞しました。
9年生の圧巻のパフォーマンスに魅了された6年生。まさにこの時、
「これぞ高中」という伝統が受けつがれていく瞬間となりました。

『憧れ』(6年生から9年生へのメッセージ)

・ステージ発表をする人たちが、みんなで協力していたので、団結力がすごいと思った。最後の写真を見たら、たくさんの時間を使って練習して、みんなに見せるために頑張っていたので、さすが9年生だなと思いました。

・9年生のきれいな歌声やダンスなどを見て、言葉が出なくなるほど感動しました。9年生のとてもカッコいい姿を見て、私も来年、あんな中学生になりたいです。



第1ステージ ちびっこフェスティバル



9月21日、第1ステージの1年生から4年生の児童による「ちびっこフェスティバル」が行われました。第1ステージのリーダーである4年生を中心に、縦割りのグループで、生活科や総合的な学習の学習発表会を行いました。野菜や「暮らしと絵文字」「わたしたちと県」など、学んだことをクイズにして、発表しました。

また、今回の「ちびっこフェスティバル」では、縦割りグループのみんなで一緒に遊ぶこともできました。笑顔あふれる楽しい時間になりました。



4年生のはっぴようがじょうずだったので、すごくそんけいしました。わたしがくふうしたいと思ったことは、はっきり言うことです。楽しかったです。

友だちのおかげで、みんながたのしそうにしていたので、すごくうれしかったです。友だちもえがになっていたし、みんなもえがになっていたから安心しました。

先輩の姿から学ぶ!



3年ぶりに高島市陸上記録会が開催され、高島小学校からも6年生21名が参加しました。陸上記録会に向けて、中学校の陸上スポーツ部と合同で練習をしました。6年生は、中学生から競技のお手本を見せてもらったり、走り方やバトンパスのコツを教えてもらったりして、とても参考になったようです。また中学生も、先輩として小学生にわかりやすく教えようと工夫したり、競技に向かう真剣な姿を見せたりと、小中学生どちらにとっても実りの多い合同練習の時間になりました。



そして、陸上記録会で練習の成果を出して素晴らしい成績をおさめることができた6年生からは、「中学生はやっぱりすごい!良い記録を出せたのは中学生のおかげ」と喜びの声があがりました。



中学生 17キロ踏破!

9月30日、高島中学校の全校自然体験が開催され、新旭の夕暮原浜から学校までの17キロを踏破しました。この日は9月とは思えないほど気温が高く、その暑さの中、7年生から9年生の縦割りグループのメンバーで励まし合いながら、ゴールの高島中学校を目指しました。

今回の活動で、保護者や地域のボランティアのみなさんには、グループのメンバーとして一緒に歩いていただいたり、交通立番に立っていただいたり、エイドステーションで迎えていただいたり、最後のゴールでみたらし団子を準備していただいたりと、さまざまな形で支えていただき、支援していただきました。みなさんからの声援・支援が、どれほど疲れた心と体に力を与えてくれたことでしょう。感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。



高中 踏破川柳

- ・雑談で学年問わず深まった仲
- ・遠すぎるチェックポイントまだ見えぬ
- ・17キロ歩ききったときの達成感
- ・高島の豊かな自然再発見

藤樹書院でお話を聞いています。



「身に染みる
疲れた後の
みたらし団子」